様式２－１

放射線関係調査表

施設名

技師長名

電話番号

１　放射線診療従事者数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 職　　　種 | 医　　師 | | 放射線技師 | | 看　護　師 | | 検査技師 | | そ　の　他 | |
| 従事者数　計　　　　名 |  | 名 |  | 名 |  | 名 |  | 名 |  | 名 |
| 女子従事者再掲 |  | 名 |  | 名 |  | 名 |  | 名 |  | 名 |

年　　　月　　　日　現在

２　放射線診療従事者健康診断実施状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施年月日 |  |  |  |  |  |
| 検査項目 | 被ばく歴・血液・目・皮膚 | 被ばく歴・血液・目・皮膚 | 被ばく歴・血液・目・皮膚 | 被ばく歴・血液・目・皮膚 | 被ばく歴・血液・目・皮膚 |
| 省略の有無 | 有（血液・目・皮膚）・無 | 有（血液・目・皮膚）・無 | 有（血液・目・皮膚）・無 | 有（血液・目・皮膚）・無 | 有（血液・目・皮膚）・無 |
| 対象者数 |  |  |  |  |  |
| 受診者数 |  |  |  |  |  |

３　被ばく状況

（１）従事者の被ばく測定方法（具体的に）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 測定器の種類 |  | | 測定器の種類 |  | | 測定器の種類 |  | |
| 測定器数 |  | 個 | 測定器数 |  | 個 | 測定器数 |  | 個 |

（２）過去5年間に受けた実効線量累計による計数

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実効線量（H13.4.1以後5年毎） | | | 水晶体の等価線量（R3.4.1以後5年毎） | | |
| 従事者数 | 100mSv超過 |  | 人 | 100mSv超過 |  | 人 |

（３）前年度１年間に受けた線量累計による計数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実　効　線　量 | | | 水晶体の等価線量 | | | 皮膚の等価線量 | | |
| 従事者数 | 20mSv以下 |  | 人 | 20mSv以下 |  | 人 | 150mSv以下 |  | 人 |
| 20mSv超50mSv以下 |  | 人 | 20mSv超50mSv以下 |  | 人 | 150mSv超500mSv以下 |  | 人 |
| 50mSv超 |  | 人 | 50mSv超 |  | 人 | 500mSv超 |  | 人 |

（４）今年度監視時までに受けた線量累計による計数（結果報告がされている月まで）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実　効　線　量 | | | 水晶体の等価線量 | | | 皮膚の等価線量 | | | |
| 従事者数 | 20mSv以下 |  | 人 | 20mSv以下 |  | 人 | | 150mSv以下 |  | 人 | |
| 20mSv超50mSv以下 |  | 人 | 20mSv超50mSv以下 |  | 人 | | 150mSv超500mSv以下 |  | 人 | |
| 50mSv超 |  | 人 | 50mSv超 |  | 人 | | 500mSv超 |  | 人 | |

（５）女子従事者が３月間に受けた実効線量累計による計数

（妊娠する可能性がないと診断されたもの及び妊娠する意思がない旨を管理者に書面で申し出たものを除く。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実効線量 | 4/1～6/30 | | 7/1～9/30 | | 10/1～12/31 | | 1/1～3/31 | |
| 従事者数 | 1.5mSv以下 |  | 人 |  | 人 |  | 人 |  | 人 |
| 1.5mSvを越え5mSv以下 |  | 人 |  | 人 |  | 人 |  | 人 |
| 5mSv以上 |  | 人 |  | 人 |  | 人 |  | 人 |

４　管理測定機器の保有状況

サーベイメータ類

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 形　式 | 電離箱式 | | G　　M　　式 | | シ　ン　チ　式 | |
| 台　数 |  | 台 |  | 台 |  | 台 |

様式２－２

診療用エックス線装置関係

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| エックス線診療室名 | |  |  |  |  |  |
| 装 置 | 装置整理番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 区分 |  |  |  |  |  |
| 製作者名 |  |  |  |  |  |
| 形式及び 製造年月 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 定格出力 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 設置年月日 |  |  |  |  |  |
| エックス線管の数 |  |  |  |  |  |
| 用途 |  |  |  |  |  |
| 使用形態（固定・移動） | 固　・　移 | 固　・　移 | 固　・　移 | 固　・　移 | 固　・　移 |
| エックス線診療室 | 診療室の構造 |  |  |  |  |  |
| 隔壁の外側における実効線量が１ｍSv/週以下となる措置 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 操作室の有無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 作業場所を診療室内に設けた場合の防護措置 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 診療室である旨の標識 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 管理区域 | 管理区域である旨の標識 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 区域の外側における実効線量が1.3ｍSv/3ヶ月以下となる措置 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| その他 | 注意事項の掲示（従事者） | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 敷地内の居住区域及び境界の実効線量が250μSv/3ヶ月以下となる措置 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 注意事項の掲示（患者） | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| その他の患者の被ばく防止措置（1.3ｍSv/3ヶ月以下） | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 被ばく防止措置のための器具（具体的に） | |  |  |  |  |  |

放射線関係調査票の記入要領

医療法第２５条第１項の規定に基づく立ち入り検査を効率的に行うため、放射線関係調査票は、以下の要領にて記入してください。

なお、ご不明な点は保健所の担当までお問い合わせください。

Ⅰ　様式３－１について

１　放射線診療従事者数

放射線診療従事者の職種毎の人数及び女子従事者の再掲を記入してください。監視時の人数をお願いしたいところですが、若干前の時点でもかまいません｡医師には歯科医師も含みます。

２　放射線診療従事者健康診断実施状況

※労働安全衛生法上は事業者自身に対する健康診断の義務はありません

監視日の前１年間の実施状況（6カ月以内ごとに被ばく歴の有無の調査及びその評価・血液・目・皮膚の検査の必要あり）を記入してください。また、医師の判断により検査項目を省略した場合には省略の有無及び省略した検査項目に○をつけてください。また、検査項目を省略した場合でも、その人数を対象者数及び受診者数に含めてください。

３　被ばく状況

1. 従事者の被ばく測定方法（具体的に）

フィルムバッチ、ガラスバッチ、ポケット線量計、ＴＬＤ等の種類と数を具体的に記入してください。

1. 過去５年間に受けた実効線量・等価線量累計による計数

過去５年間の実効線量を区分ごとに人数を計算してください。

1. 前年度１年間に受けた実効線量・等価線量累計による計数

前年度の累計線量を区分ごとに人数を計算してください。

1. 今年度監視時までに受けた実効線量・等価線量累計による計数

監視までに測定結果の報告されている今年度の実効線量・等価線量累計を区分毎に計算してください｡年度当初で今年度分の測定結果がまだ届いていない場合は記入しないで結構です。

1. 今年度女子従事者が監視時までに受けた実効線量累計による計数

監視までに測定結果の報告されている３ヶ月毎の実効線量を区分毎に計算してください｡年度当初で今年度分の測定結果がまだ届いていない場合は記入しないで結構です。

４　管理測定機器の保有状況

管理測定用機器の保有状況を記入してください。

Ⅱ　様式３－２について

１.管理区域（エックス線診療室）及び隣接部の平面図を添付してください。

２．記載要領

1. 所有している全ての機器について記入してください。なお、記入欄が不足する場合は、適宜様式３－２を追加して記入してください。
2. １つの診療室（撮影室）に複数台装置がある場合は、続けて記入してください。
3. 用途には、直接撮影、断層撮影、ＣＴ、胸部集検用間接撮影装置、口腔内撮影用、歯科用ﾊﾟﾉﾗﾏ、骨塩定量分析、透視用、治療用、輸血用血液照射装置、乳房撮影用、ｴｯｸｽ線車等を記入してください。
4. 診療室の構造は耐火構造、不燃材料のいずれかを記入してください
5. 被ばく防止措置のための器具には、防護衝立、防護エプロン、防護メガネ等、具体的に記入してください。